



ききょう

第 6 号



文責 校長 涌井俊一

- ☆学校教育目標☆ ①自ら学ぶ生徒 ②自他を大切にする生徒
 ③最後までやりぬく生徒 ④進んで奉仕する生徒
- ☆生徒指標☆ 「より励み」 「明るく」 「強く」 「美しく」

☆とちぎ教育ビジョン2020 基本理念
 「とちぎから世界を見つめ 地域とつながり 未来に向かって とともに歩み続ける 人間を育てます」

朝夕の気温が下がり、肌寒い日が多くなってきました。季節は静かに進んでいることを実感する今日この頃です。今月は茂木町小中学校音楽会や県新人大会、桔梗祭、県音楽祭中央大会、郡市駅伝競走大会とたくさんの行事が行われ、たくさんの生徒たちが活躍しました。いよいよ来週からは11月になります。冬がやってきます。ご家庭でもお子様の体調管理には十分注意してください。

二学期も折り返し地点となり、いよいよ後半に入ります。先週末の桔梗祭にはたくさんの皆様にご来校いただきありがとうございました。茂木中学校生徒のパワーを観ていただけたことと思います。この桔梗祭で今学期の大きな行事も終了し、いよいよ学習に集中できる時期に入ります。3年生にとっては進路選択と決定の時期になります。また、1、2年生も三者面談等で日頃の学校での様子や将来の進路について話し合うこととなります。ご家庭でもじっくりと話し合ってみてください。



11月の主な行事

- 11月2日(水) 朝会
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) ~17日(木) 三者面談
- 12日(土) 13日(日) 町児童生徒作品展
- 16日(水) 全校集会(体育)
- 19日(土) 職業人の講話
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 25日(金) 期末テスト
- 28日(月) 3中学校交流授業
- 30日(水) 全校集会(図書)

桔梗祭

10月22日(土)、平成28年度桔梗祭を開催しました。朝早くから多くの保護者の皆様や地域の皆様にご参観いただきました。今年のテーマの「百花斉放!歌え 笑え 見よ 我らの飛躍を!」どおり、素晴らしい合唱、自由発表での笑い、そして、廊下には、絵画作品、書道作品、理科研究作品が展示され、まさに百花斉放の桔梗祭となりました。特に合唱コンクールは毎年各学級がしのぎを削る戦いで、優劣付けがたい熱い合唱が披露されました。また、毎年恒例のテーマ絵は、「春、しだれ桜が咲く校舎」の風景を、全生徒がどこかに写っている写真を使ったモザイク絵でテーマを表現してくれました。楽しく充実した一日を楽しむことができました。



今年のテーマ絵



少年の主張



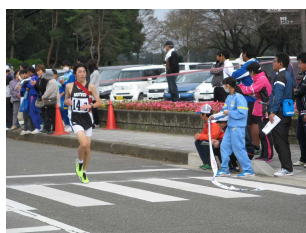
合唱コンクール



自由発表

都市駅伝競走大会

10月25日（火）芳賀郡市中学校駅伝競走大会がありました。特設駅伝部員は9月から朝、放課後の練習をして、本大会に臨みました。男女とも多くの選手が自己ベストの走りをする事ができ、男子9位、女子14位と大健闘をしました。特設駅伝部の19名の選手の皆さん、お疲れ様でした。



糸井君が9位でゴール



女子スタートの様子

学力向上推進事業

今年度、本校は県教育委員会から学力向上推進事業の指定を受け年間5回の研修をとおして、本校の生徒の学力向上を図るため全教職員が研修を進めています。

全国学力調査の結果（3年生）

本校の3年生は、国語 A・B 数学 A・B いずれも栃木県平均、全国平均を上回っています。

とちぎっ子学力調査（2年生）

本校の2年生は、国語、社会、数学、理科、英語全ての教科で栃木県平均を上回っています。

このような調査結果を踏まえ、全学年の生徒のさらなる学力向上を目指して、教師一人一人の指導力向上のため以下のような取組をしています。

○授業の「めあて」について全生徒が理解する

授業には必ずその時間に理解しなければならない内容があります。それを授業の最初に「めあて」として生徒に理解させ、授業を展開する事になります。そこで意欲を持って授業に臨めるような「めあて」の提示方法を研究しています。

○授業の中で話し合い活動を入れる

○授業の中で自分の意見をまとめて発表する

ただ教師の講義を聴いているだけの授業では理解は深まりません。そこで話し合い活動が重要になります。話し合うためには、「自分の考えを「まとめる力」「相手にわかりやすく伝える力」が必要になります。その力を高めるための研究をしています。

○授業の最後に振り返り活動をして何が理解できたかを確認する

授業の最後に、1時間で学習したことが理解できているかどうかの確認が必要になります。そこで、毎時間最後に内容確認方法の工夫についての研究をしています。

○定期テストの1週間前から昼休み質問コーナーを開く（質問については教科担任が随時実施していますが、特にこの期間を設定しています）

本校の生徒は、教師に質問をすることが苦手なようです。そこで質問がしやすい環境をつくるため、定期テスト前の期間に「質問コーナー」を昼休みに開いています。各教科の先生方が全員でそれに当たります。中間テスト前の「質問コーナー」は盛況だったようです。

○教師自身が教育技術を向上させるため常時研究を行う

教師の本業は教えることです。教師は常時、指導するための教育技術を向上させる必要があります。そこで、今回の「学力向上推進事業」はもちろんです。各種研修会に積極的に参加して技術向上を図っています。

【保護者の皆様へお願い】

家庭学習の習慣を付けることは、ご家庭でしかできません。お子様の家庭学習の環境づくりや指導をぜひご家庭でもお願いします。